

平成 3 1 年 3 月 2 0 日

喜多方市議会議長 佐 藤 一 栄 殿

提出者 渡 部 一 樹

賛成者 遠 藤 吉 正

〃 田 中 和加子

〃 小 島 雄 一

〃 江 花 圭 司

〃 齋 藤 仁 一

〃 遠 藤 金 美

〃 大川原 謙 一

〃 山 口 和 男

議会案第 4 号 生活保護基準の引下げの中止を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第 1 4 条第 1 項の規定により提出します。

生活保護基準の引下げの中止を求める意見書

生活保護基準が２０１８年１０月１日から引き下げられ、さらには２０１９年、２０２０年にも引き下げられる予定となっている。生活保護費は、２０１３年に戦後において最大規模の引下げが行われ、２０１４年、２０１５年と連続して削減された。

全国の２９都道府県、１，０２２人の生活保護費受給者が、その取消しを求めて係争中であるにもかかわらず、政府は司法の判断を待たず、再度引下げを強行した。

昨年１０月からの引下げを不服とする審査請求は約６，０００件に上っている。

生活保護費の度重なる引下げは、健康で文化的な最低限度の生活とは程遠いものである。

生活保護基準の引下げは、生活保護受給者だけの問題にとどまらず、個人住民税の非課税額を参照している事業や就学援助、保育料の免除等、国の施策である低所得者向けの４７事業と連動し、社会生活に甚大な影響を及ぼすことが懸念される。

よって、本市議会は、国及び政府関係機関に対し、下記事項について強く要望する。

記

生活保護基準の引下げを中止すること。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

平成３１年３月２０日

福島県喜多方市議会議長 佐藤 一 栄

【意見書提出先】

衆議院議長	大島 理森	殿
参議院議長	伊達 忠一	殿
内閣総理大臣	安倍 晋三	殿
厚生労働大臣	根本 匠	殿